

平成 23 年度第 2 回「三番瀬専門家会議」開催結果概要

- 1 日 時 平成 24 年 3 月 22 日（木）午後 6 時から午後 8 時 10 分まで
- 2 場 所 千葉県国際総合水泳場 会議室 1 及び 2
- 3 出席委員 5 名（大西会長、岡安委員、古川委員、飯島委員、横山委員）

4 議事概要

・議事として、「三番瀬自然環境調査」、「干潟的環境形成試験」、「市川市塩浜護岸改修工事」について、出席委員から助言をいただいた。

①三番瀬自然環境調査

三番瀬自然環境調査年次計画について、平成 25 年度の底生生物調査（青潮影響調査）と平成 27 年度の水環境モニタリング（青潮・貧酸素水観測）の実施年度を合わせるなど、各調査間の関連性を考えて実施したらどうか。

②干潟的環境形成試験

砂山の地形変化について、一定期間、砂山の高さが安定していた時期もあり、調査結果をよく精査して、次の検討に反映させて欲しい。

③市川市塩浜護岸改修工事

重要種であるウネナシトマヤガイのモニタリング結果の評価などについて、固定観念で決めつけをしないこと。また、モニタリングの検証項目以外の変化についても考察に書き加えて欲しい。

平成24年度第1回「三番瀬ミーティング」開催結果概要

1 日 時 平成24年7月29日（日）午後2時から午後4時30分まで

2 場 所 浦安市中央公民館 4階 大会議室

3 参加者 約50名

4 概 要

- ・ 三番瀬再生について、地元住民、漁業関係者等から広く意見を聴く、本年度第1回目（通算では2回目）の「三番瀬ミーティング」を浦安市内で開催した。
- ・ ミーティングの第一部では、首都大学東京横山准教授から、「震災復興と干潟再生」の事例報告について講演をいただいた。
- ・ ミーティングの第二部では、県から三番瀬の深淺測定の結果について報告後、三番瀬再生について意見交換が行われた。

5 主な意見・質問

《震災後の三番瀬》

- ・ 震災後、市川市東浜（ふなばし三番瀬海浜公園の西側）に新しい湿地ができている。こういった湿地の調査も行って欲しい。
- ・ 浦安市日の出の護岸は安全なのか、調査をして欲しい。
- ・ 津波の影響で潮の流れがどうなったのか、そのメカニズムの調査を行って欲しい。

《ラムサール条約の登録・条例》

- ・ ラムサール条約の登録に向けて、観光担当部局と一緒に推進して欲しい。
- ・ 県はラムサール条約に登録したいと思っているのか。合意形成ができていないが、どう調整してきたのか。
- ・ 漁協との合意形成に向けた話し合いの経過を公表して欲しい。
- ・ ラムサール条約登録に向けたスケジュールを示して欲しい。

- ・ラムサール条約の登録は、漁場の再生に相反しないと考える。
- ・条例の制定について、目に見える進展はしているのか。
- ・三番瀬は是非保全してほしい。保全に当たっては、ラムサール条約への登録や条例の制定など、制度の整備が必要である。

《放射能問題》

- ・江戸川可動堰を開放した場合の三番瀬への影響をどう考えているのか。
- ・放射能調査の結果を、できるだけ早く公表してほしい。是非、放射能の対策を、国の対応を待つことなく、県としても積極的に行って欲しい。

《広報》

- ・県の広報の仕方が下手である。（三番瀬の魅力を発信しきれていない）
- ・深淺測量調査結果の詳細等、全文をホームページで掲載して欲しい。
- ・三番瀬サテライトオフィスのような、様々な立場の方が話し合える拠点を復活して欲しい。

《干潟の再生》

- ・人工的な土砂の供給は、干潟の再生に役立つのかどうか。メンテナンスしていく必要はあるのか。
- ・人工的な砂の供給は、埋立てに該当するのかどうか。

《その他》

- ・市民と漁業者が一体となって親しめる空間が三番瀬にできていない。
- ・再生会議でとりまとめた「ランドデザイン」の扱いはどうなっているのか。
- ・浦安市の緑の連携に県は協力するのか。
- ・淡水と土砂の供給について、次期計画に反映させて欲しい。
- ・自然環境は長いスパンで見ていくべきである。
- ・アマモの再生に関する水温、透明度についての検討して欲しい。
- ・自然保護課が所管する生物多様性センターをもっと有効活用するべき。